



# はんのう 民児協だより

発行/飯能市民生委員・児童委員協議会

編集/広報委員会

事務局/飯能市福祉部 地域福祉課内

TEL(042)986-5081(直通)

## 「つながり」から「繋がり」そして「つなぐ」へ

飯能市民生委員・児童委員協議会 会長 井上 久美子

昨年12月の一斉改選により引き続き飯能市民生委員・児童委員協議会の会長を務めさせていただくこととなりました。

飯能市には約160名の委員が着任しており、それぞれが自分の住んでいる地域を見守り、地域に合ったやり方で活動しています。まずは住民の皆様、担当の民生委員を知って下さい。私達も地域の方々と顔見知りになりたいと願っています。

多様化し社会環境の変化からの課題も山積する世の中にあり、個人情報への意識の高まりや情報通信技術の発達など活動が難しくなっている所もあります。こうした中で日々地域の方々に寄り添い、見守り、支え、声を聞いて各関係機関に適切に届け、繋げることを念頭に活動しています。

相談相手として実情把握、生活相談への対応、自立支援など多岐にわたる役割に対応すべく、研修会なども行っています。

『誰もが安心して生活できるまちへ』を心に止め、皆様から信頼され、頼られる民児協、地域住民の方々との顔のみえる関係をより深められるよう、委員一同と共に励んでまいります。

どうぞ気軽にお声かけ下さい。お待ちしております。



「民児協だより」は年2回（6月と12月）発行ですが、第94号は一斉改選にともない、これからの任期（3年）を担う全委員の名簿掲載の特別号です。

民生委員・児童委員の名簿は2～3ページに掲載しています！

### 迷ったら埼玉県救急電話相談

病院へ行く？

救急車を呼ぶ？



利用方法

音声案内が流れますので、相談したい内容により番号を押してください。

- 1 小児救急電話相談（中学生まで）
- 2 大人の救急電話相談
- 3 医療機関案内（案内のみの対応）

# 7 1 1 9

24時間  
365日対応

急なケガや病気をしたとき、救急車を呼んだ方がいいか、今すぐに病院に行った方がいいかなど、判断にまようことがあるかと思います。そんな時は#7119にお電話ください。

看護師が症状に応じた対処方法や医療機関の受診の必要性についてアドバイスします。

この電話相談は医療行為ではなく、電話でのアドバイスにより、相談者の利用の判断の参考としていただくものですので、あらかじめご理解のうえ利用してください。

ダイヤル回線、IP電話の場合は Tel 048-824-4199

○は新任者 ◇は主任児童委員 △は広報委員を示します

# 飯能市民生委員・児童委員名簿 令和8年3月1日現在

**⑨ 吾野地区 (9名)**  
吾野・北川・南川ほか

会長	平沼 あけ美
副会長	金子 恵里
副会長	木村 和枝
	◇朝日 則安
	酒井 昭広
	△菅井 圭子
	◇鈴木 弘子
	常道 登美雄
	○田中 充宏

**⑩ 東吾野地区 (8名)**  
虎秀・平戸ほか

会長	加藤 直
副会長	△島田 雅弘
	○井上 ひろみ
	◇井上 珠代
	大野 ふさ子
	◇須田 直美
	○関谷 秀夫
	○塚本 陽一

**② 飯能第二地区 (22名)**  
小瀬戸・中山ほか

会長	佐々木 鉄夫	中里 伊佐雄
副会長	岡登 一志	○高橋 一晃
副会長	渡邊 栄子	△藤田 廣
	○◇石森 聡	○堀口 たえ子
	市川 光男	○村本 朱美
	○小野澤 次郎	○森 純子
	小林 律夫	○森田 幸一
	◇佐藤 輝男	山川 芳子
	白井 久恵	山川 安代
	白井 政江	○横家 愛子
	須崎 章子	○吉野 隆士

**① 飯能第一地区 (18名)**  
東町・仲町・八幡町ほか

会長	市川 宏明
副会長	佐野 康枝
副会長	渡邊 けい子
	浅野 益恵
	◇市川 淳
	○井上 隆司
	岡本 知恵子
	小澤 修司
	小高 正紀
	○栗原 一男
	△小林 扶次
	丸山 紀子
	山崎 妙子
	横田 きよ子
	(欠員 4名)

**③ 精明第一地区 (20名)**  
川崎・双柳・宮沢ほか

会長	新井 善治
副会長	小川 さと子
副会長	滝本 繁男
	○青田 勇
	○浅見 一美
	○市川 進
	岩本 なみ子
	△加藤 久佳
	○木原 かほる
	佐藤 匡彦
	高久 忍
	○中島 光子
	中村 久夫
	◇福岡 智美
	◇古谷 聡子
	○細田 宏
	森 敏子
	○矢嶋 安雄
	山下 利明
	吉田 早智子

飯能市民生委員  
児童委員協議会

会長 井上 久美子  
副会長 新井 善治  
石田 賢一  
主任児童委員会委員長 古谷 聡子  
広報委員会委員長 加藤 久佳

**④ 精明第二地区 (12名)**  
青木・栄町・中居・双柳ほか

会長	間柴 新作
副会長	三木 範子
副会長	宮前 淳子
	新井 恵利
	今川 美雪
	◇大塚 直樹
	岡田 鈴江
	鎌田 恵美子
	△河野 富美子
	◇小金井 将之
	橋村 章子
	森口 久美子

**⑥ 加治地区 (17名)**  
落合・笠縫・川寺ほか

会長	島崎 典泰
副会長	大沢 あをい
副会長	野口 浩明
	浅見 直美
	五十嵐 良子
	◇江原 英子
	△大久保 利昭
	○工藤 義夫
	厚東 克己
	木下 広子
	澤田 久子
	○高橋 洋子
	○橋本 美和子
	◇丸山 宏子
	南 厚子
	○横田 豊
	(欠員 1名)

**⑤ 加治東地区 (14名)**  
阿須・岩沢ほか

会長	田中 徳幸
副会長	福元 聡子
副会長	山岸 和子
	○新井 清美
	○岩沢 浩二
	○◇宇野 理恵
	○◇内沼 久美子
	○神田 久美子
	小林 和代
	小松 啓子
	△佐渡谷 政信
	土屋 利美
	利根川 正次
	(欠員 1名)

**⑦ 美杉台地区 (15名)**  
前ヶ貫・美杉台・矢風ほか

会長	井上 久美子
副会長	北島 学
副会長	△佐野 繁
	◇新井 千映子
	今井 聡美
	○今関 美智代
	魚谷 月香
	小津 清嗣
	小嶋 里美
	○後藤 俊彦
	◇熊谷 かおり
	○松久 憲二
	村田 あや子
	○安保 きみ江
	(欠員 1名)

**⑧ 南高麗地区 (7名)**  
岩淵・直竹ほか

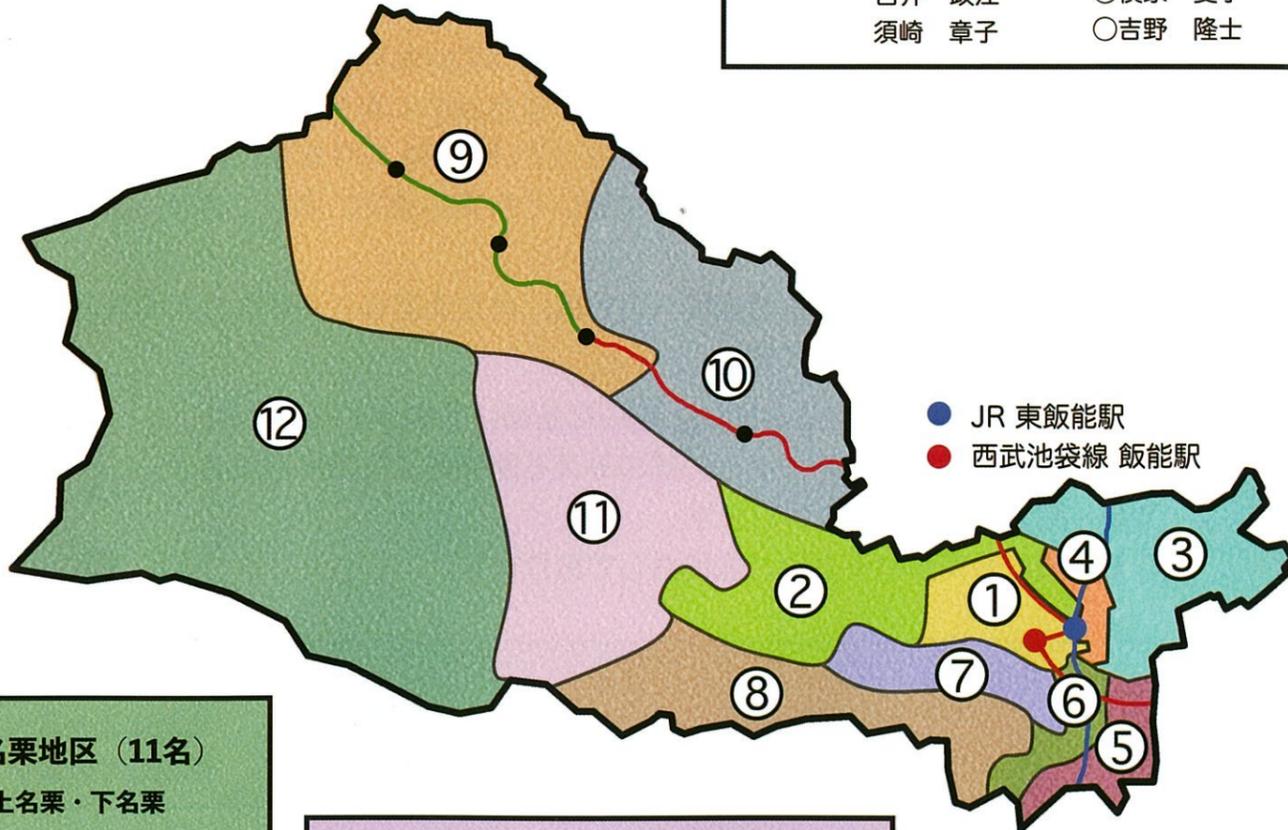
会長	石田 賢一
副会長	◇宮寺 早苗
	◇神田 明美
	清水 容子
	高橋 清美
	横川 礼子
	△◇松下 益代

**⑪ 原市場地区 (16名)**  
赤沢・中藤・原市場ほか

会長	町田 和子	○佐野 勇
副会長	佐野 純一	◇鈴木 伸夫
副会長	町田 泰宏	○鈴木 良一
	青木 和子	武本 清己
	○◇荒井 恵美	△中村 芳江
	柏崎 元一	馬場 定男
	○木橋 浩	○平沼 義晴
	倉掛 富幸	○福島 明英

**⑫ 名栗地区 (11名)**  
上名栗・下名栗

会長	町田 久江
副会長	浅見 敏子
副会長	町田 貴美江
	浅見 節雄
	○岡部 多基雄
	○◇砂生 良子
	○関 みか
	○竹内 愛子
	筒井 ひろみ
	○町田 京子
	△○◇若野 由佳



委員全員が下記の4部会のいずれかに属し、研修を通じて、知識を身につけるよう努めています。

(1) 生活援護部会 (2) 児童福祉部会 (3) 高齢者福祉部会 (4) 障害福祉部会

障害福祉部会の研修報告は前号(第93号・12月1日号)に掲載しております。

尚、昨年12月の改選により、現在、所属する部会は研修時とは異なっております。

## 生活援護部会

小高 正紀

飯能市生活福祉課の職員から、生活保護制度と生活困窮者自立支援制度について受講し、制度や飯能市の実績などの説明も受けました。

### (1)生活保護制度

**級地制度** 市区町村毎に設定された「級地」によって生活保護費が異なる。地域ごとの立地特性や生活様式などに応じて生じる物価・生活水準の差を、生活保護の基準額に反映させることを目的とした制度。ホームレス調査や行旅死亡人<sup>※</sup>についての業務も生活福祉課が担っていることは、少なからず驚かされました。

### (2)生活困窮者自立支援制度

(生活保護に至る前の段階から早期に支援を行う第2のセーフティネットとして創設された制度)

飯能市では学生に対する支援の件数が多いとのこと。例としては、学習支援事業(飯能市学習支援教室わくわく)で教員や学生ボランティアの協力のもと高校受験において全員合格という実績も残しているとのこと。また、学生を支援する団体も多く、大学等への進学を希望する高校生に対する奨学金制度は多種(返還不要の給付金型も出てくるなど)にわたっているとのことでした。

家計改善支援事業(家計の立て直しをアドバイス)では、家計表(家計簿)を作成し家計を管理する意欲を引き出すことを目的とした支援もあるとのことでした。

※行旅死亡人(こうりょしぼうにん)とは

名前も住所も不明で、遺体の引き取り手のない死者のことを行旅死亡人と呼びます。



## 高齢者福祉部会

今川 美雪

第1回研修会 2025年7月11日

\*介護保険の仕組みについて

保険の仕組みはなかなか難しいけれど、介護だけでなく自立へのサポートもあるので、市役所や民生委員等に相談しながら、当事者が自由に選択して受給することが大切です。

\*介護予防について

介護予防に必要な3つの事。①しっかりたべよう! ②外出・交流を楽しもう! ③しっかり体を動かそう! 一人で悩まず、まずは、関係機関に相談しましょう。

## 児童福祉部会

常道 登美雄

飯能市子ども支援について講義を受け、改めて地域全体で子育てを支える大切さを学びました。子どもの発達には個人差があり、発達に応じた対応、家庭の環境にも配慮が求められます。子どもや保護者が孤立せず、安心して日々を過ごすような支援が必要です。合わせて子育て支援拠点「どんぐりルーム」の見学では、親子が安心して遊び交流できる温かな雰囲気に触れました。

これからも、皆さんと一緒に子育ても支えるつながりを広げていきたいと願います。

新広報委員ではじめての「民児協だより」を発行することができました。市民の皆さんに関心をもって読んでいただけるように、委員一同、協力して活動していきたいと思っております。

尚、民児協だより第81号(2020年7月1日発行)より編集、デザインを担当しておりました者が今号をもって終了となります。次号より、誌面もリニューアルする予定です。ご意見や感想など、お寄せいただけましたら幸いです。

編集後記

